

# 青梅市文化財ニュース

第 1 6 7 号

平成13年9月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel.0428-23-6859)

## 青梅市制施行50年 …それぞれの関わりの中で…

今年、青梅市が市制を施行して50年めにあたります。西多摩郡青梅町・調布村・霞村が合併して新しい市が誕生した昭和26年4月1日には、同時に新設校として青梅市立青梅第二小学校（現在の市立第四小学校）が誕生しています。それまでの青梅町立青梅小学校から分離して現在地に開設されたのですが、その当時の様子が『野菊とバイエル（著者・干刈あがた、刊行・集英社文庫ほか）』に書かれています。これまで慣れ親しんできた学校や友だちたちと別れて4月から新しい学校へ移る子どもたちが不安と期待を抱くところから始まっています。小学生の心の動き、敗戦の残影が、まだ見られる社会や小学生の生活の様相が主人公の永井ミツエ（小学3年生）の目を通してとらえられ、暖かみのある文体で綴られています。

…前略… 4月1日の市制施行祝賀の日に、ミツエたちは本町小学校（青梅小学校のこと）の校庭に並んで町長から市長になった人から『シセイシコウ』の話を聞いたあと、お祝いの旗行列に出発した。…中略… 第二小学校の校舎の建築は新学期に間に合わず、ミツエたちはもう10日くらいも本町小学校の講堂で勉強をしている。…中略… やっと第二小学校の校舎もできて明日は学校の引っ越しだ。明日は第二小学校へ通うことになる子たちは本町小学校から分けてもらう地図や掛け図や標本やボールを持って並んで新しい学校へ行くのだ。…後略…

青梅市は、このあと昭和30年に吉野村、三田村、小曾木村、成木村が併合されて現在の市域に拡大しましたが、小学校の数は昭和26年の市制施行以来の第一小学校から第十小学校までの10校の時代が続きました。その後、人口の急増に伴って46年の河辺小学校の開校以降、59年の吹上小学校開校まで次々と8校が新設されます。また、平成8年には第八・第九・第十小学校の統合により成木小学校が開校して、現在は16校になっています。中学校は旧町村に1校の時代が長く続いていましたが、昭和48年に第四・第五中学校が統合して西中学校が開校し、49年からは東部方面に霞台中学校ほか3校が新設されて10校になっています。青梅市制施行から半世紀。それぞれの学校には、そのとき、その時代の中で関わってきた人たちが築いた、かけがえのない歴史があります。

(文責 中西 勲)